

入居者インタビュー

「“安心”こそが、私の元気の原因です！」

・・・宮崎由子様 (67歳)

～安心を得た今、やり続けたいことが見えてきた～



●高山植物や山野草目当てに、山にも出かけます



北燕岳 (崖淵で撮影) 「駒草」

父親が大の花好きだった影響を受け、私も大の花好きです。花好きが嵩じて、学生の頃から山登りが趣味になりました。休暇をもらうと、その季節にしか咲かない花を求めて、日本全国を歩き回りました。その年その年によって、微妙に開花時期が違ったりする、これもまた山の魅力で、「いつかまた見に行きたい！」という動機につながりました。自然の中で、人の手が加わることなく、ひっそり or 凛としている植物 (の姿) に、強くたくましい生命力を感じ、私もそこからパワーを得ます。また、登山を始めてからは、歩く途中途中の“風景 (絶景)”、山小屋から空を仰いだときの、あの輝く“星空”にも魅了され…お花に会いに行く旅は、毎回楽しみでした。旅行以外にも、ゴルフや手芸、美味しいもの巡りなど、健康で特別悪いところもないので、元気に何の不安もなく過ごしていました、あの震災までは…。

●安心が大事、私が出した結論は…“大吉”

“東日本大震災”で私は急に自信を失くしてしまいました。自宅マンションで経験した大きな揺れ、度重なる余震、誰とも話ができないという孤独感、電話も通じない…。あの当時の心境は、今も忘れることができません。いざという時にすぐ近くに「頼れる人がいない」というのは本当に心細いことだと痛感しました。1人であることに不安を覚え、体調も悪くなりそうな感じ。だからこそ、早く安心ある場所で暮らしたいと思い、本気でホームを探しました。

「65歳で入居なんて早すぎる」と周りからは言われましたが、私にとっては“安心”が一番大事だったので、迷わず入居を決めました。最期まで看てもらえることと、元気な今から見守ってもらえるという安心感が決め手。

今では〈ゆうゆうの里〉の生活にもすっかり慣れ、知り合いも増えました。里の庭に咲く可愛いお花や、多くの人に見守られている安心感のお蔭で、ゆったりとした気持ちで毎日過ごせています。良いくじを引いた (良い決断をした) と周りにも伝えています。



H28.1.1 新年祝賀会
宮崎様 (左側前)

●茶道を介して日本的な心や文化を伝えていきたい



「(初釜) 茶事」へ
これから出掛けます・・・

自分の中に「安心」を得られると、人間は元気になれるものですね。以前の私は“自分が楽しむ”ことを大事にしていましたが、この頃、若い人たちにもっと日本的な心や文化を知って欲しい、興味を持ってほしい…、そのためのお手伝いをしていきたい、という使命感にも似た気持ちが出てきました。長く茶道を続けているので、茶道を介して「和敬清寂」の心や所作など、(私が長年魅せられ続けている) この誇れる日本文化を、多くの方に伝えていきたいと思っています。その為にも、自分自身が元気でいられるように、好きなこと (お花に旅行、ゴルフ、編み物、洋裁…etc.) を続けつつ、茶道を通して多くの方と触れ合っていく楽しみも追加したいと思います。ここにきて“やり続けたいこと”がはっきり見えたきたことが、とても嬉しいです。



居室ベランダに咲く
「侘助椿」

ベランダの侘助椿 (写真)、可憐な上に、何かを語りかけてくれる表情。愛情を注がれて育てているのがわかりました。お花だけでなく、周りの人や物へも本当に優しい宮崎様、お話を伺った私達の方がパワーをいただきました。やりたいこと、ぜひやり続けていただきたいと思います。…私達も何か始めねば…と思いました。